

平成26年8月

平成26年	4月	～	6月期	実績
平成26年	7月	～	9月期	見通し

中小企業景況調査報告書

岩手県商工会連合会

主要景況項目の動き	2
業況天気図	3
全産業の推移	4
製造業の推移	7
建設業の推移	11
小売業の推移	15
サービス業の推移	19
全産業の過去データの推移 * 平成15年1月以降	23
[集計資料]	

D・Iとは

D・Iとは、ディフュージョン・インデックスの略です。これは、企業経営者の景気動向を表す指標として利用されています。

算出方法は、増加（上昇・好転）企業割合から減少（低下・悪化）企業割合を差し引いたものです。

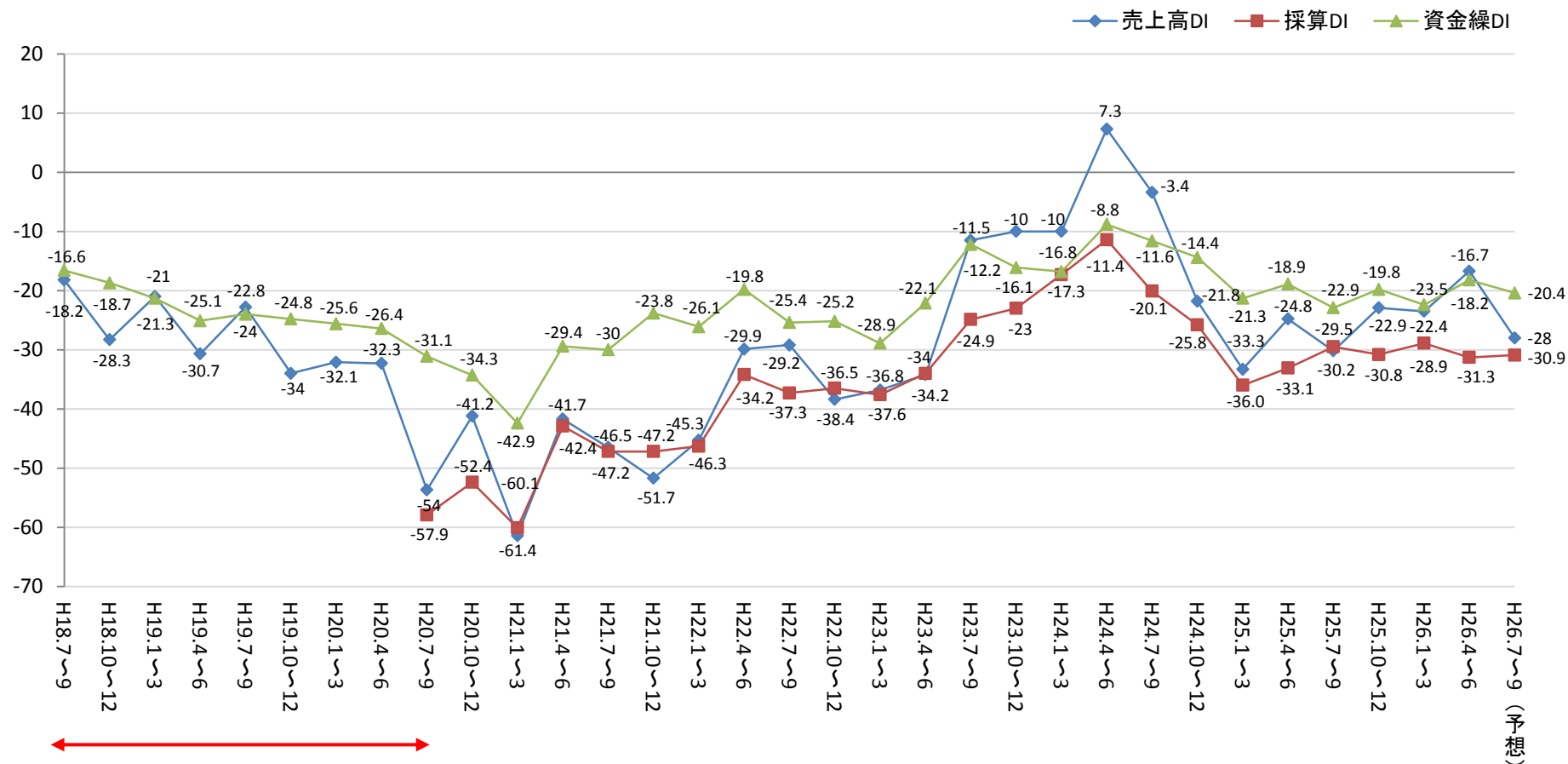
D・Iがプラスなら強気（楽観）、マイナスなら弱気（悲観）、原材料または商品の仕入単価の場合はプラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となります。

プラス、マイナス同数の場合はD・Iはゼロになります。

たとえば、売上高増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、D・Iは $50 - 20 = 30$ となり、全体として経営者の売上高に対する強気の度合いを表しています。





































[岩手県 産業全体]






主要景況項目の動き ー前年同期比ー



採算DIについては全国連にデータなし

業 況 天 気 図

業 種 \ 期 間	平成24年		平成25年				平成26年		(見通し)
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
製 造 業	 曇	 雨	 雨	 雨	 曇	 薄曇	 曇	 薄曇	 薄曇
建 設 業	 薄曇	 晴	 薄曇	 薄曇	 晴	 晴	 快晴	 快晴	 曇
小 売 業	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 曇	 雨	 雨
サ ー ビ ス 業	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 雨	 雨	 曇	 曇

売上高DI	100.0 ~30.1	30.0 ~10.1	10.0 ~△10.0	△10.1 ~△30.0	△30.1 ~△100.0
表 示	 快晴	 晴	 薄曇	 曇	 雨

全産業の推移

売上高

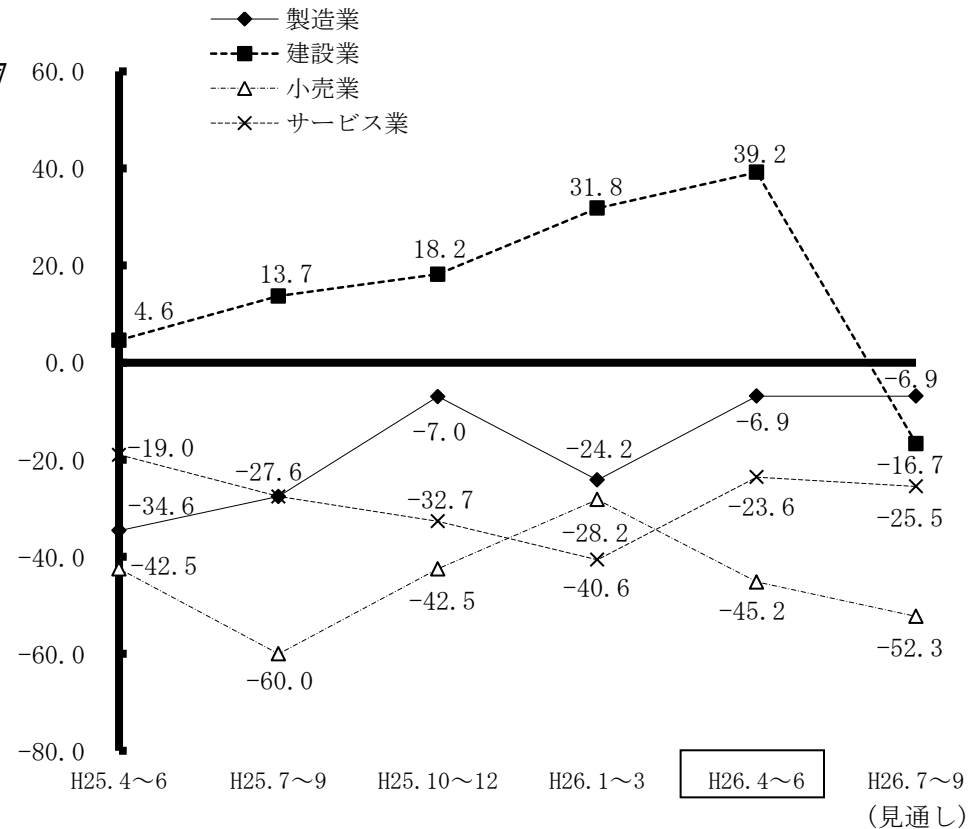
製造業・サービス業では回復、建設業は依然好調

今期は、製造業において、17.3ポイント上昇の△6.9に、サービス業においても、17.0ポイント上昇の△23.6と回復に転じました。また、建設業においては、7.4ポイント上昇の39.2と好調を維持しました。

一方、小売業においては、消費増税による影響で回復傾向から一転して、17.0ポイント減少の△45.2に悪化しました。

来期は、建設業において55.9ポイント減少し、大幅に悪化すると予想しています。

また、小売業においては7.1ポイント、サービス業においても1.9ポイントの悪化を見込んでいます。



※建設業の売上高は完成工事高

全産業の推移

採算

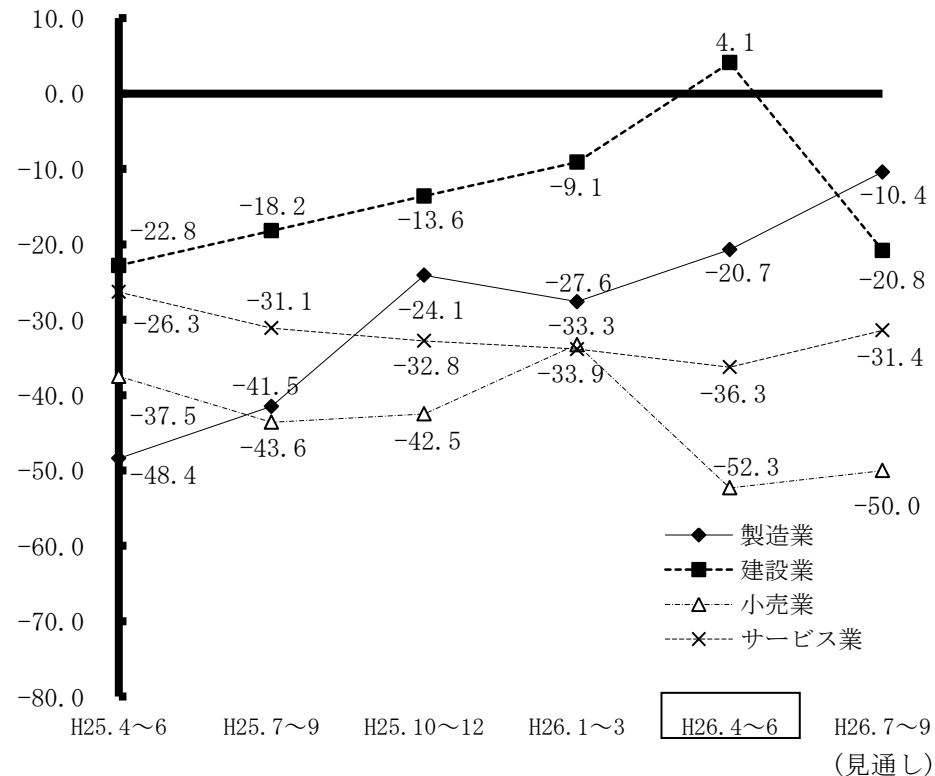
建設業の利益率が、更に改善。小売業は悪化。

今期は、製造業で、6.9ポイント改善し△20.7となったほか、建設業でも、13.2ポイント上昇の4.1と5期連続で改善しました。

一方、小売業においては、19.0ポイントの大幅な減少、サービス業においても2.4ポイント減少と小幅ながら、悪化が続いています。

来期は、製造業においては、引き続き、大幅な改善を見込んでおりますが、建設業では、24.9ポイント減少の△20.8と大幅に悪化する見通しです。

※採算は各業種とも経常利益



全産業の推移

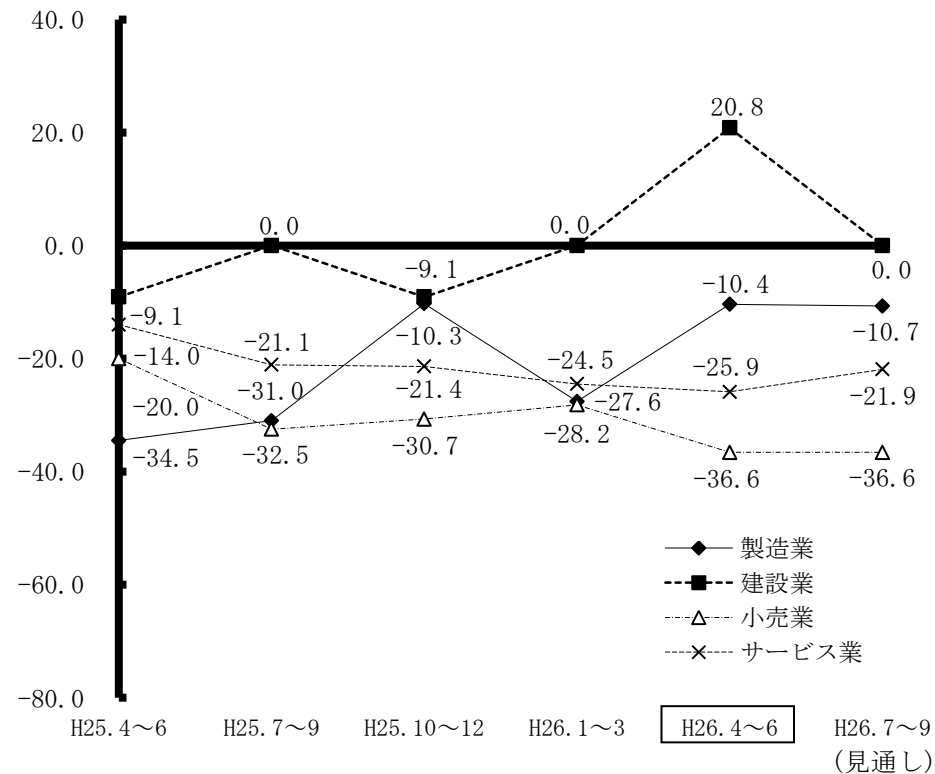
資金繰り

建設業の資金繰りは更に改善、小売業は悪化

今期は、建設業において、20.8ポイント上昇し、20.8と2期連続の大幅な改善となり、製造業においても、14.1ポイントと急激に回復しました。

しかし、小売業において、8.4ポイントの減少と悪化しました。

来期は、サービス業において、4.0ポイントと小幅な回復が見込まれますが、建設業においては、公共工事等の受注減少からか、急激に悪化する見通しとなっています。



売上高

<今 期>

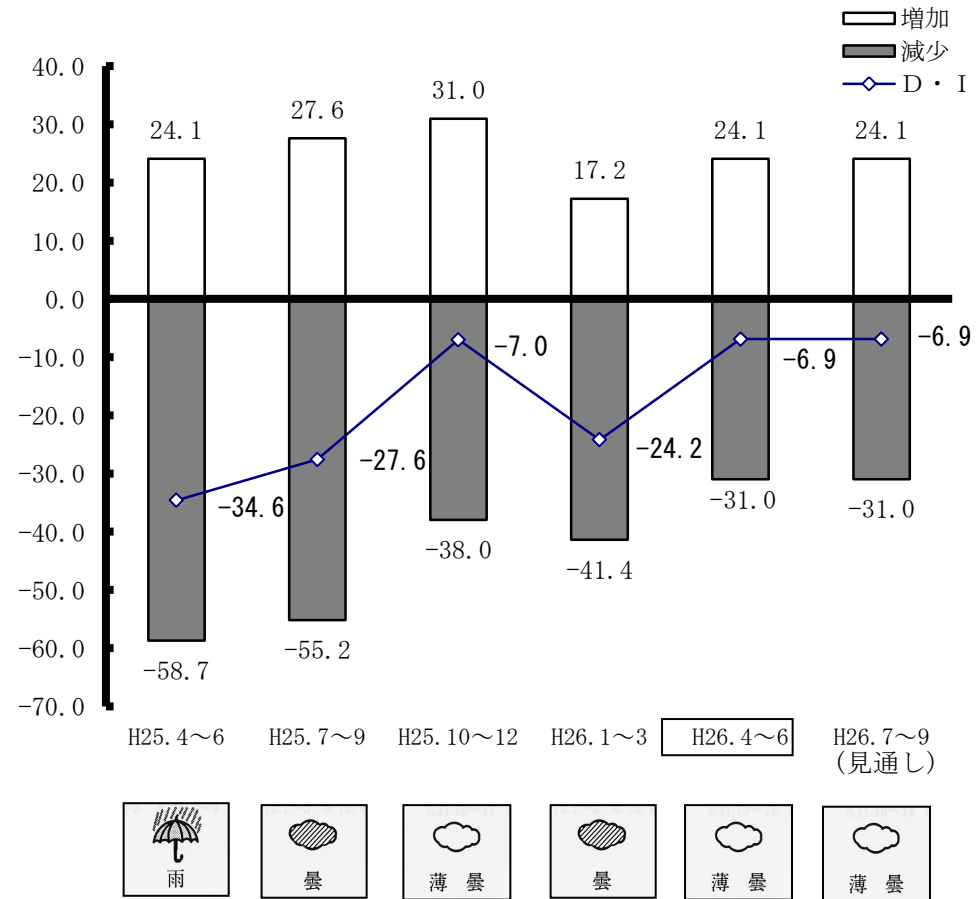


<来期見通し>



今期は、売上の増加した企業が増加し、売上の減少した企業は減少したことから、売上高D・Iは17.3ポイント増加の△6.9と、大幅に改善しました。

来期は、売上高の増加を予想する企業と、売上の減少を予想する企業が変わらないため、売上高D・Iは△6.9のままと予想されます。



採算

<今 期>

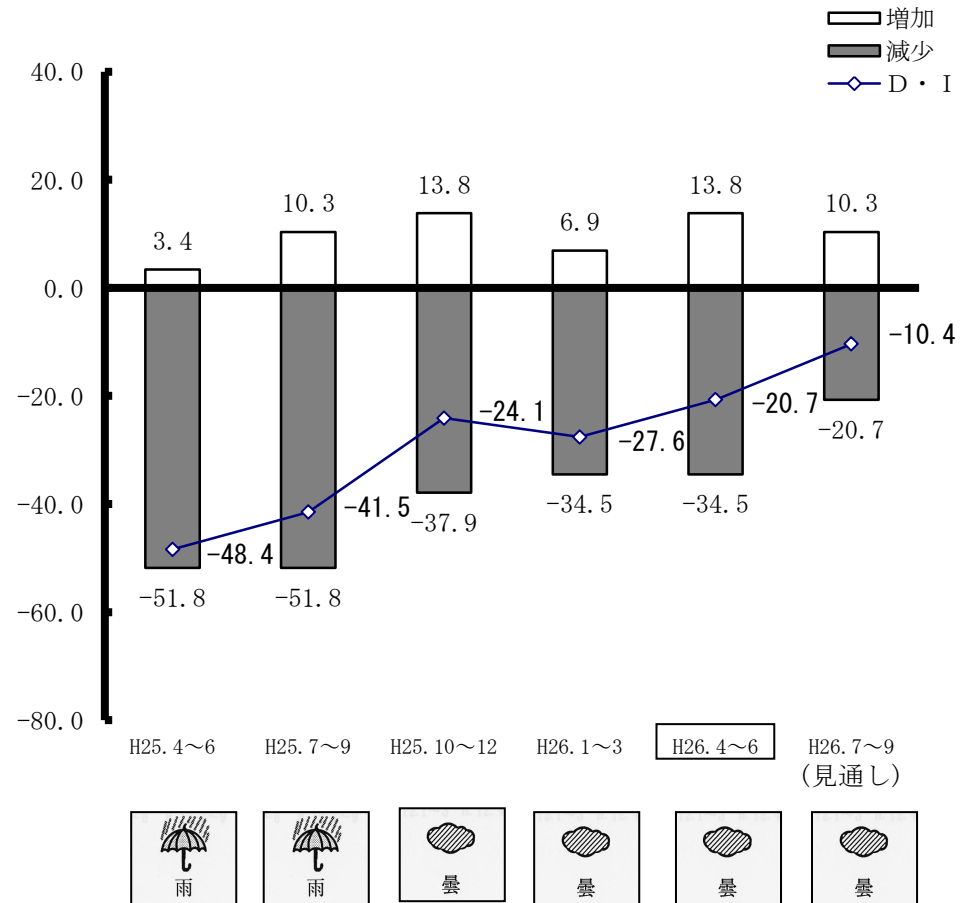


<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業の割合が増加したことから、採算D・Iは6.9ポイント増加の△20.7と改善されました。

来期の採算D・Iは、採算の悪化を予想する企業が減少し、採算が改善すると挙げた企業も減少したことから、10.3ポイント増加の△10.4と大幅に回復する見通しです。



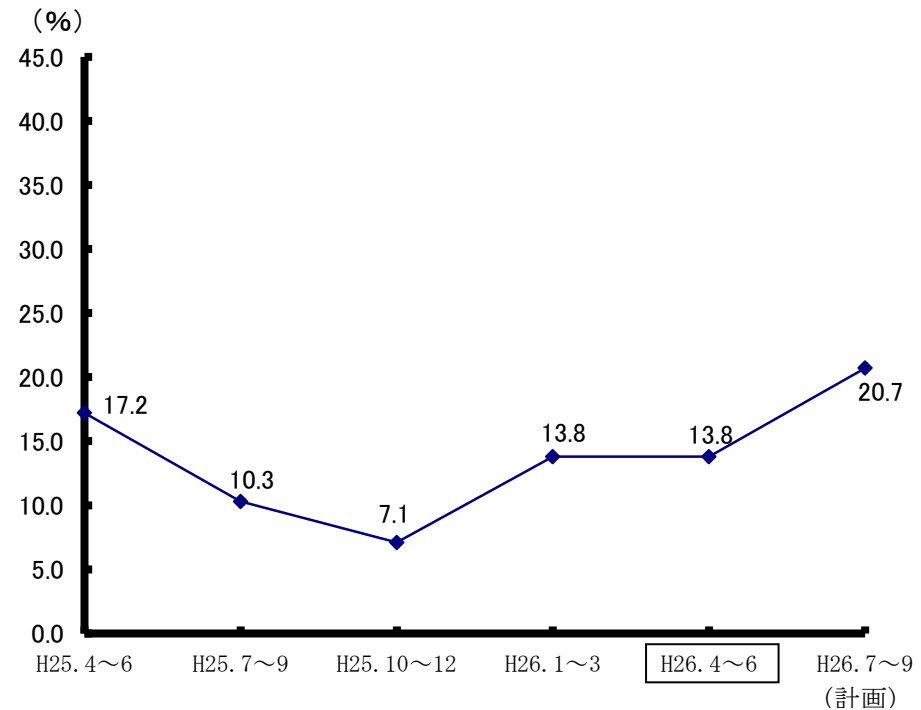
設備投資

今期は、設備投資を行う企業は前期同様の13.8となりました。

売上や採算の回復にかかわらず、設備投資が伸びなかったのは、消費税による影響と思われる。

来期は、業績の改善から設備投資を計画している企業の割合が大幅に増加するものと予想されます。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



経営上の問題点

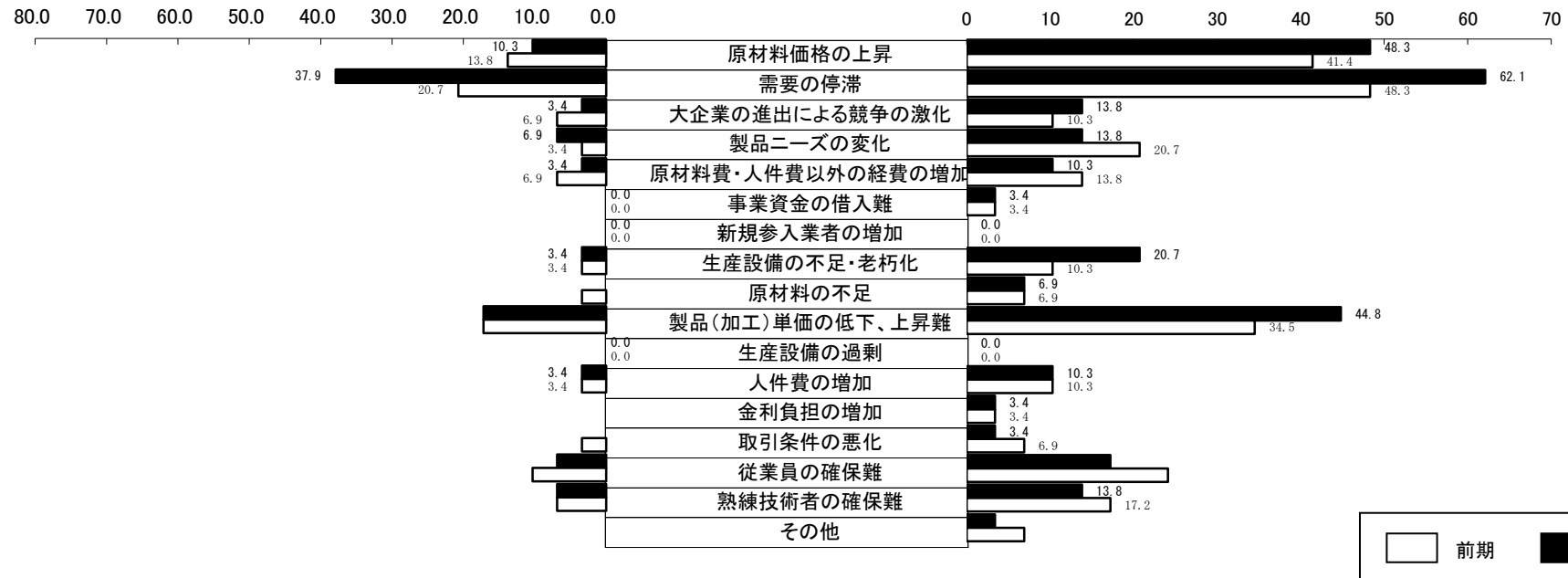
岩手県 製造業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

1位の問題点

1位~3位の問題点

(目盛:%)



建設業の推移

売上高

<今 期>

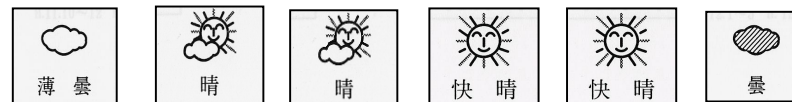
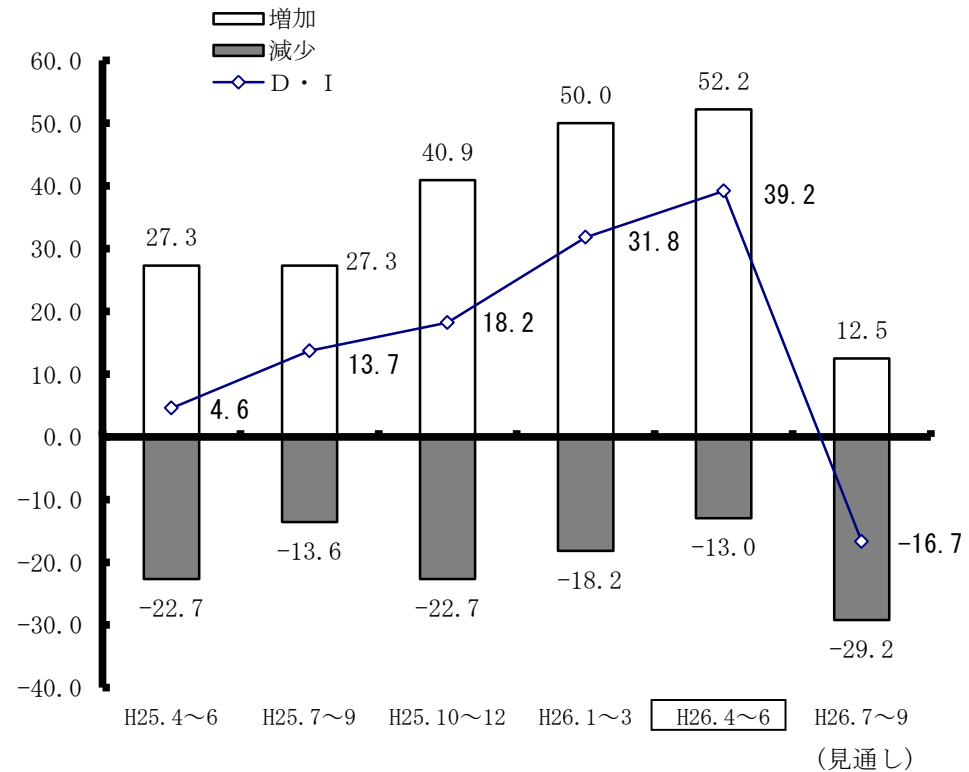


<来期見通し>



今期は、売上高の減少を挙げた企業の割合が減少し、売上の増加を挙げた企業の割合が増えたことから、売上高 D・Iは7.4ポイントプラスの39.2まで上昇し、天気図は快晴が続きました。

来期は、公共事業の端境期にあり、一転して△16.7まで減少し、予想天気図は曇となる見通しです。



※建設業の売上高は完成工事高

建設業の推移

採算

<今 期>

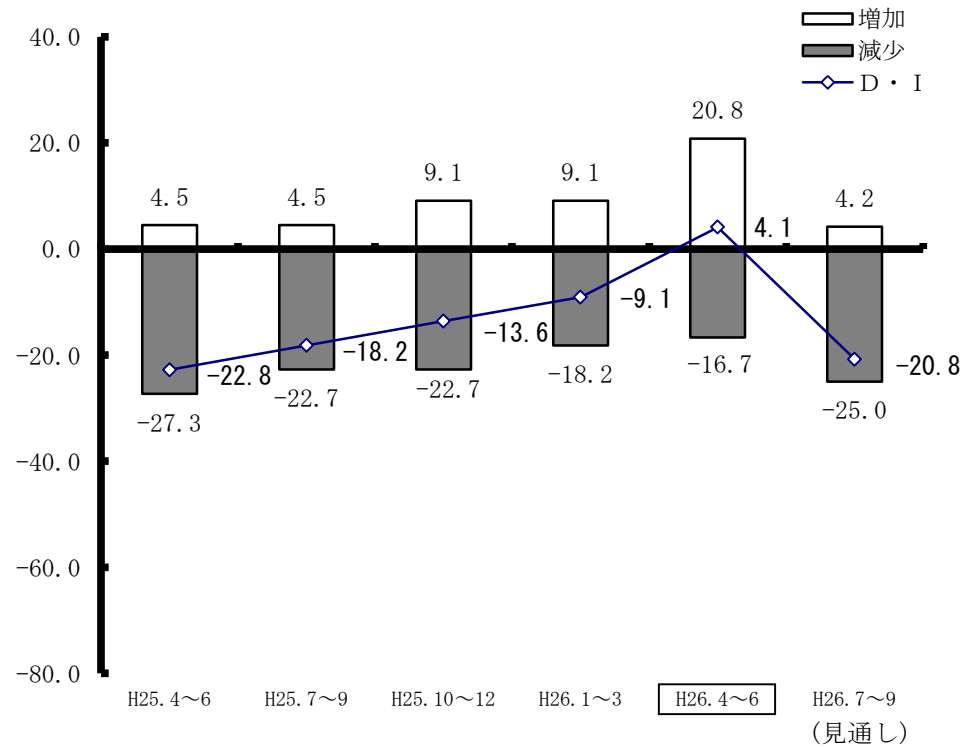


<来期見通し>



今期の採算D・Iは、採算好転を挙げた企業は大幅に増加し、採算が悪化した企業が減少したため、13.2ポイント上昇の4.1と回復し、天気図は薄曇となりました。

来期は、採算の好転を予想する企業が大幅に減少することから、採算D・Iは、△20.8まで悪化する見通しです。



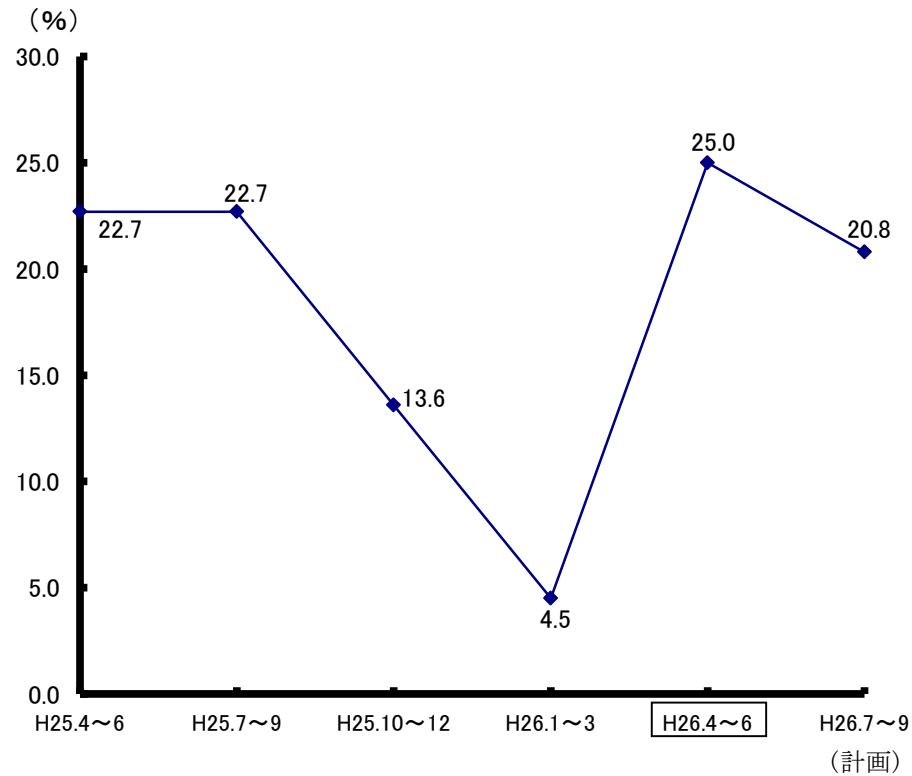
建設業の推移

設備投資

前期見通しのお通り、設備投資を実施する企業は一転して25.0まで大幅に増加しました。

来期は、設備投資を予定する企業がやや減少するものの、高水準で推移する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

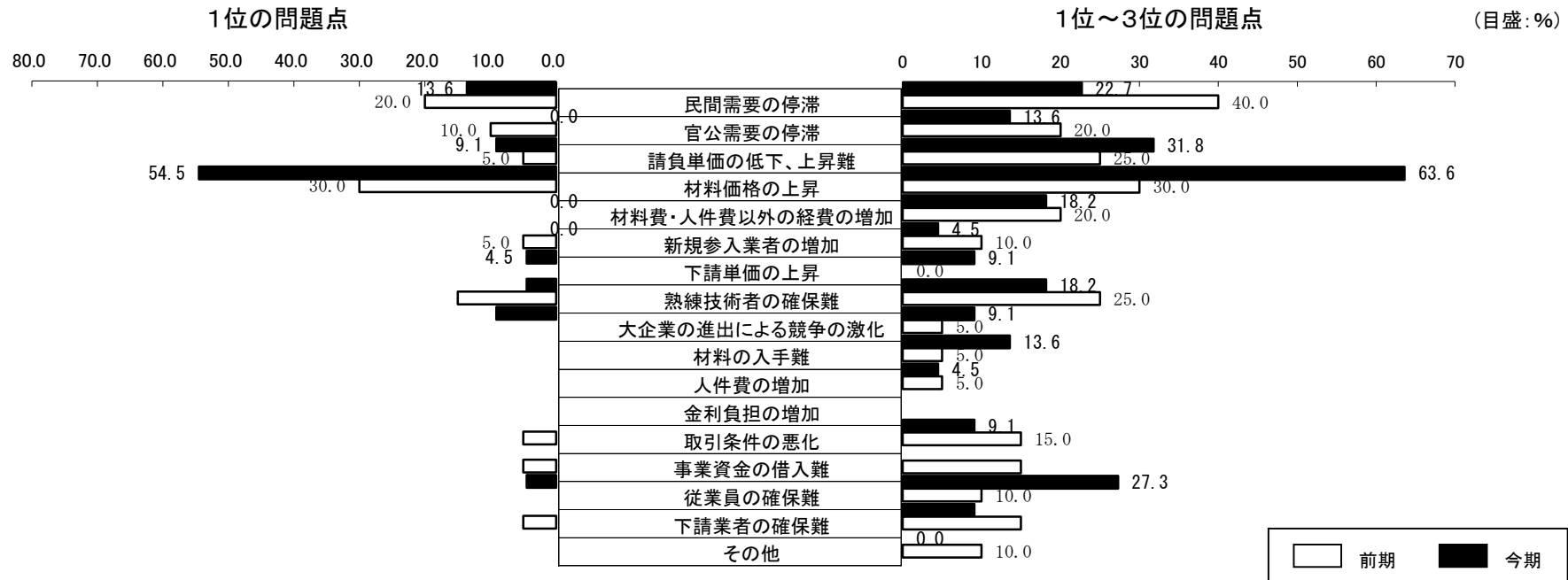


建設業の推移

経営上の問題点

岩手県 建設業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



小売業の推移

売上高

<今 期>

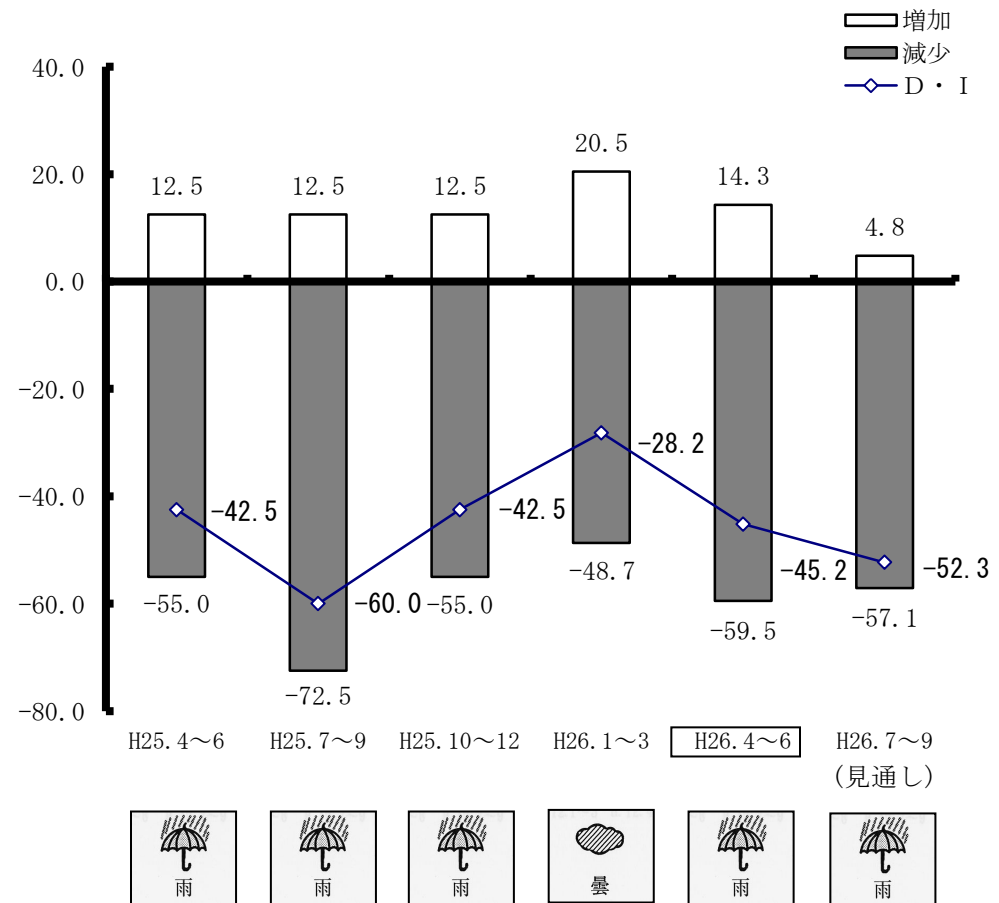


<来期見通し>



売上高増加企業が減少し、売上高減少企業も増加したことから、売上高D・Iは17.0ポイント悪化し、△45.2となり、天気図は雨となりました。

来期は、売上高増加を予想する企業が減少するため、売上高D・Iは、7.1ポイント減少の△52.3と更に悪化する見通しです。



小売業の推移

採算

<今 期>

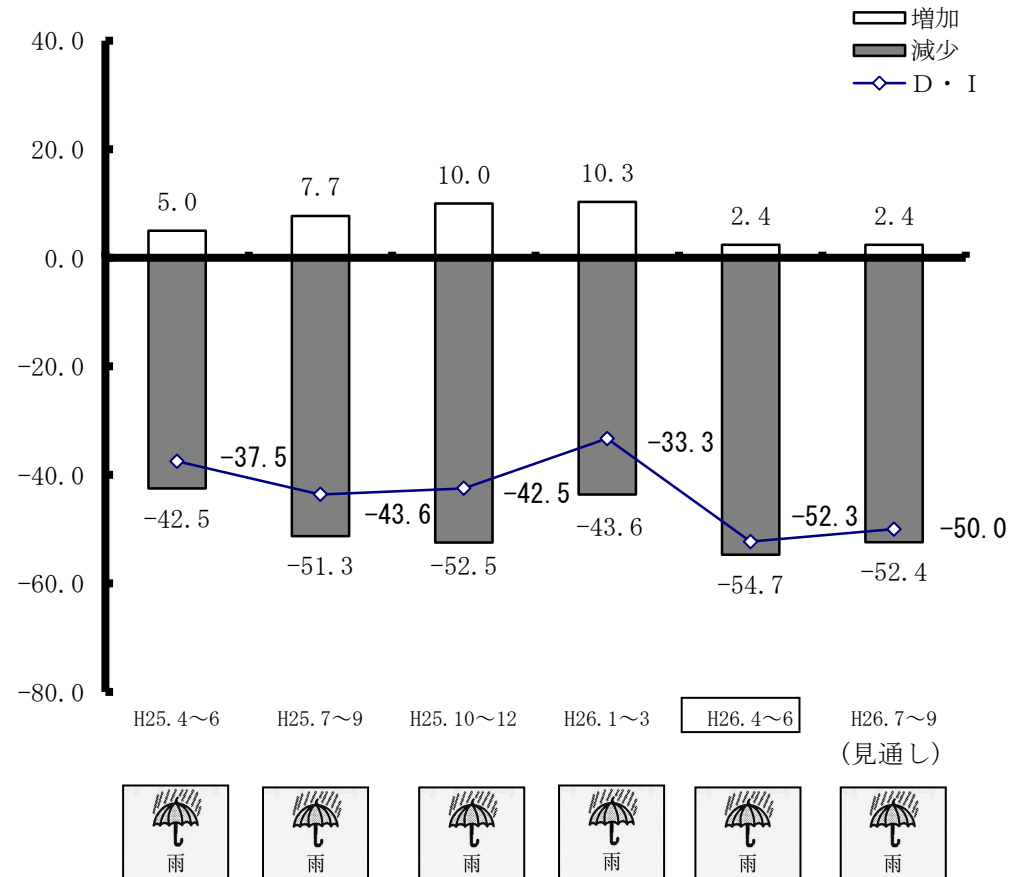


<来期見通し>



今期は、採算が悪化した企業が増加したため、採算D・Iは△19.0ポイントの△52.3に悪化しました。これは、売上の減少が採算の悪化に繋がったことと思われます。

来期は、採算の悪化を予想する企業の割合が僅かではあるが、減少するものの、依然として大変厳しい見通しとなっています。

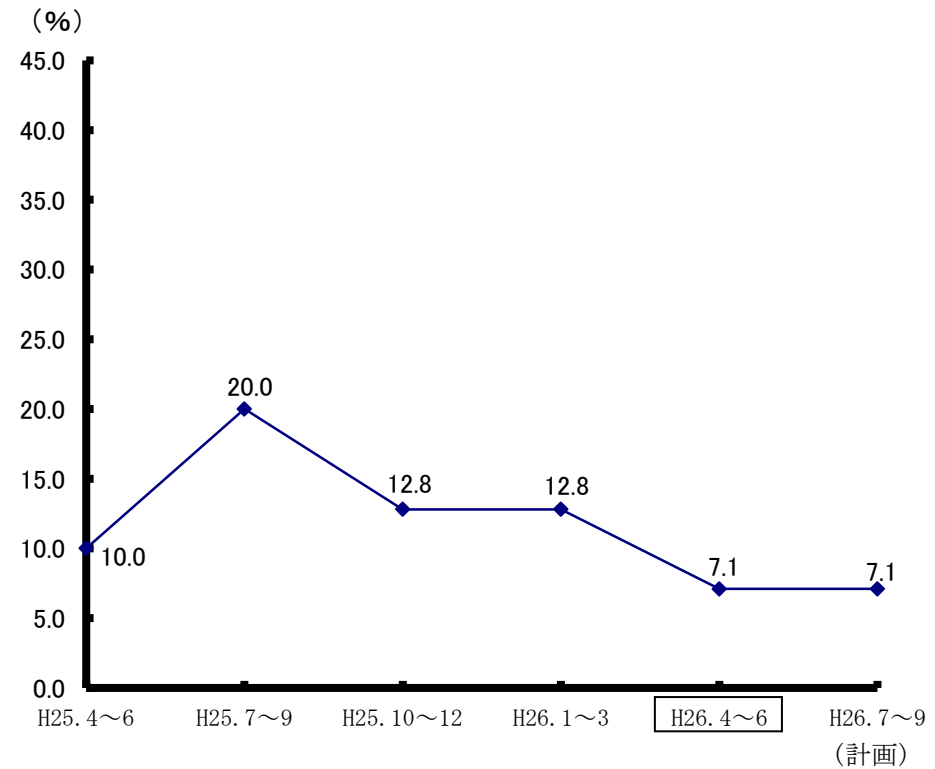


設 備 投 資

今期に、設備投資を実施した企業は、7.1まで減少し、低調に推移しました。

来期は、今期同様の低水準で推移すると見込んでいます。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



小売業の推移

経営上の問題点

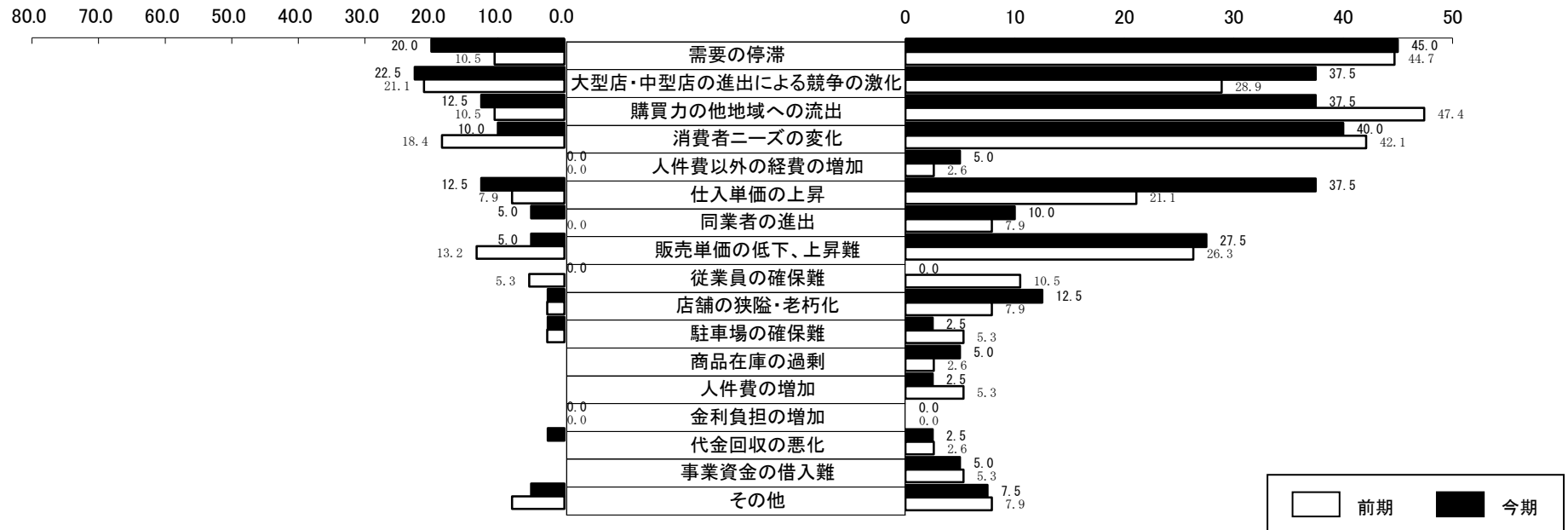
岩手県 小売業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

1位の問題点

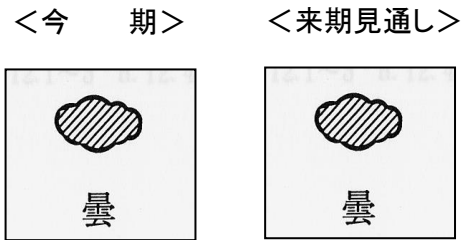
1位~3位の問題点

(目盛:%)



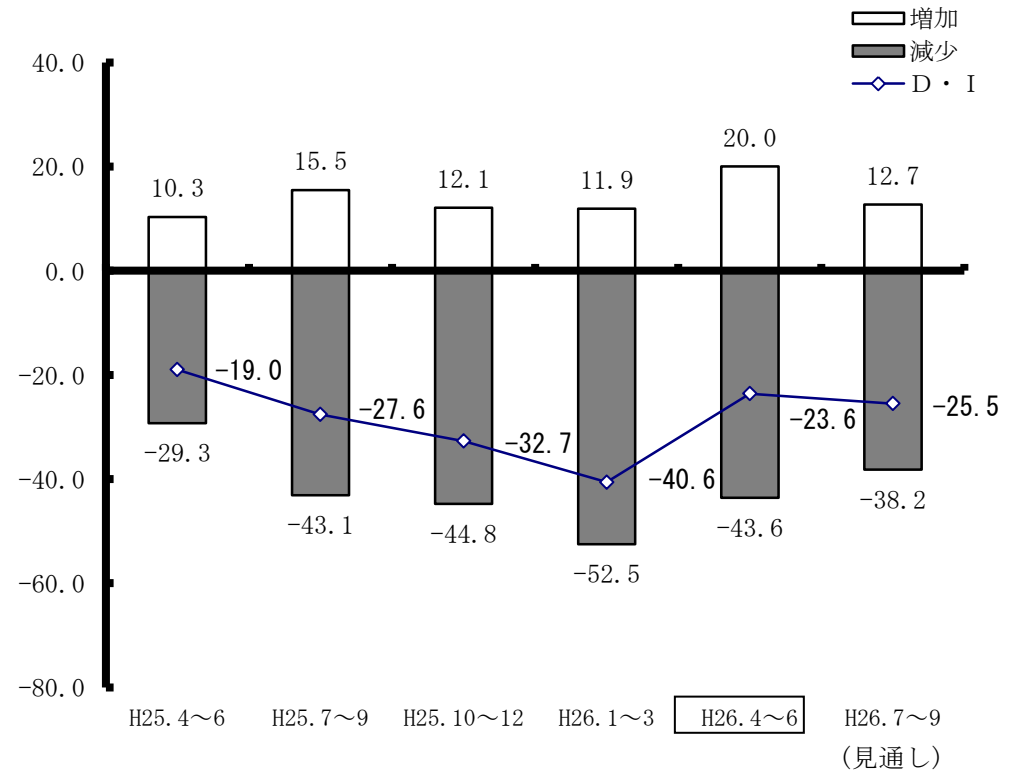
サービス業の推移

売上高



今期は、売上高増加企業が増加したため、売上高D・Iは、17.0ポイント回復し、△23.6まで上昇しました。

来期は、売上高増加を予想する企業が減少することから、売上高D・Iはやや悪化すると見込んでおります。



サービス業の推移

採算

<今 期>

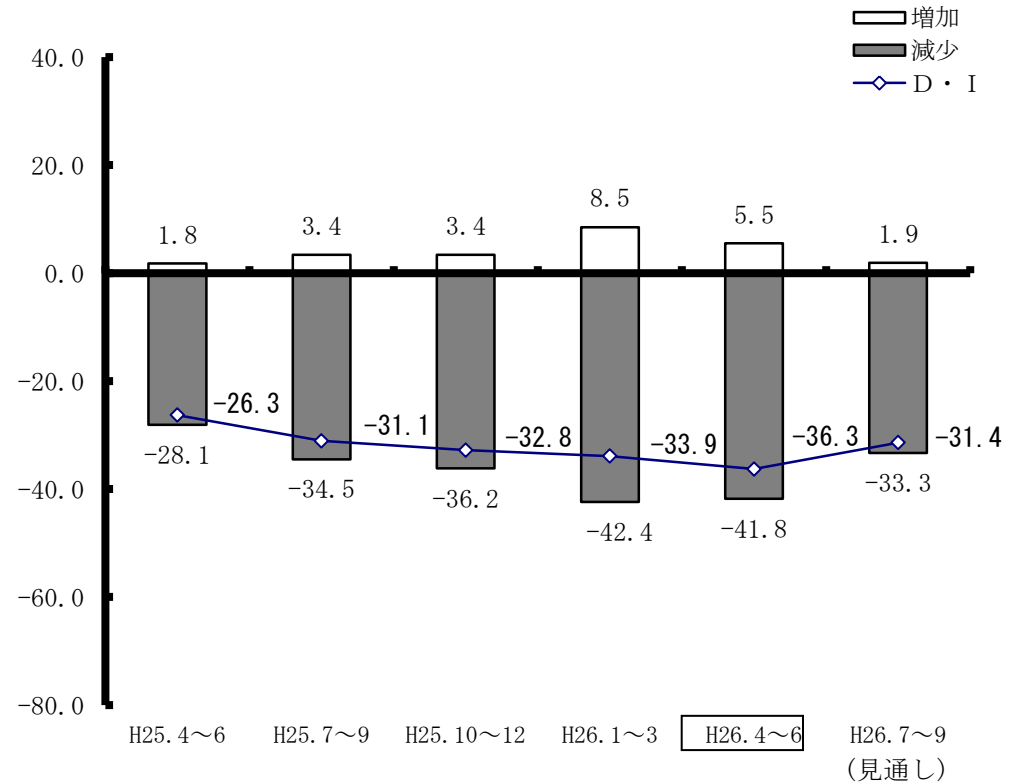


<来期見通し>



今期は、採算増加企業数が減少したものの、採算が悪化した企業も減少したことから、採算D・Iは僅かに悪化しました。

来期は、採算の好転を予想する企業が減少するものの、採算の悪化を予想する企業も減少し、D・I値は回復に転ずると見込んでいます。



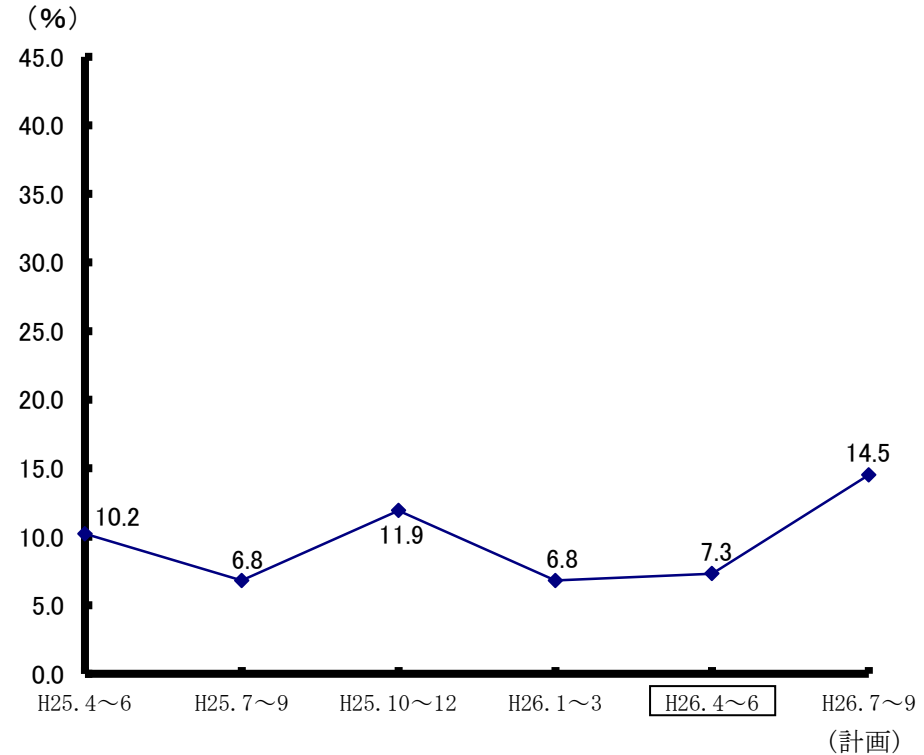
設備投資

今期は、設備投資を実施した企業は0.5ポイント増加の7.3と低水準で推移しました。

これは、売上の回復に転じているものの低水準のため、設備投資を見合わせているものと思われます。

来期は、14.5と大幅に回復する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



サービス業の推移

経営上の問題点

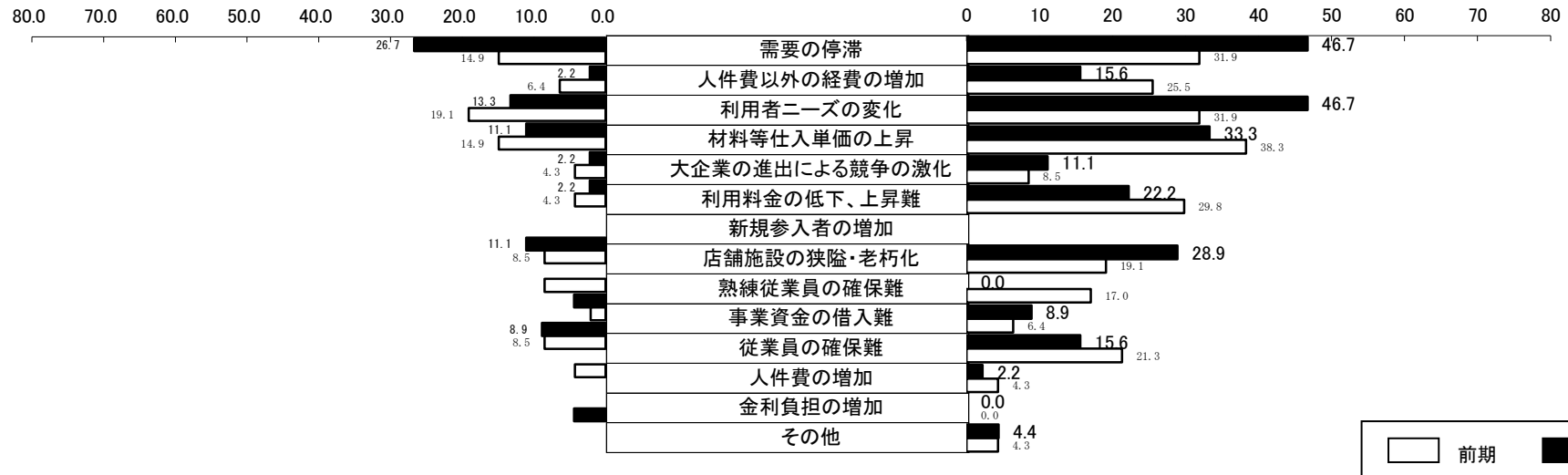
岩手県 サービス業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

1位の問題点

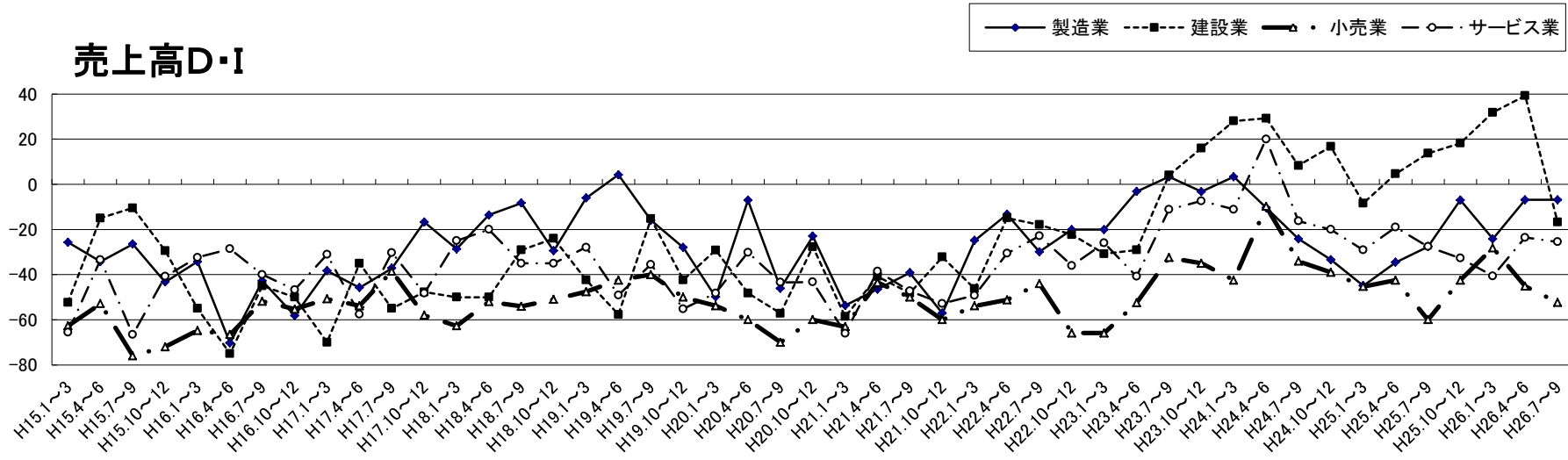
1位~3位の問題点

(目盛:%)

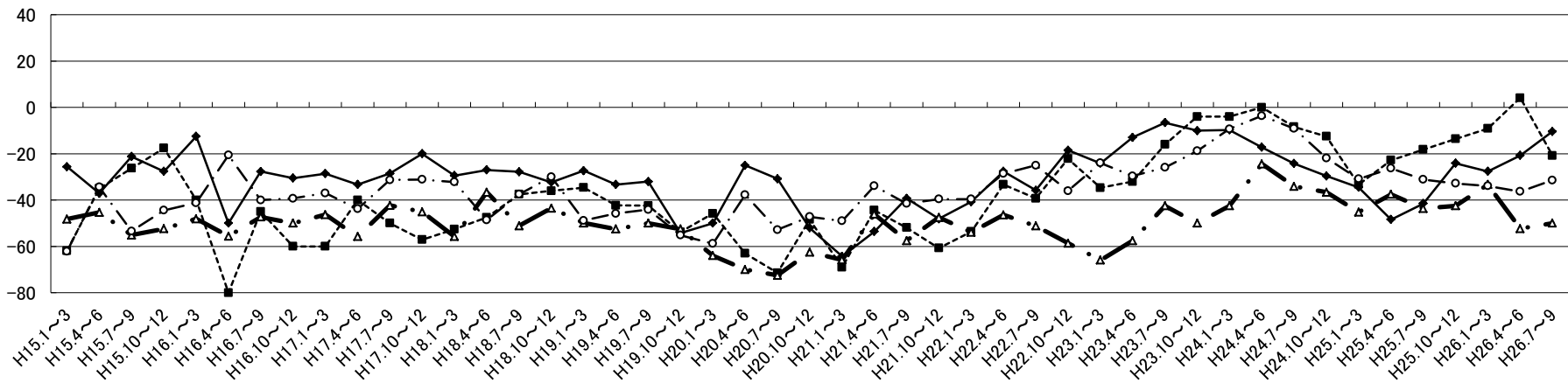


全産業の過去データの推移(平成15年1月以降)

売上高D・I



採算D・I



集 計 資 料

調 査 要 項

1. 調 査 対 象 (1) 対象地区 県内10商工会地区 遠野、陸前高田、二戸市、雫石、葛巻町
(商工会名) 紫波町、金ヶ崎町、岩泉、軽米町、洋野町
- (2) 対象企業数 150 企業
- (3) 回答企業数 150 企業
2. 調 査 対 象 期 間 平成26年4月～6月を対象とし、調査時点は平成26年6月1日としました。
3. 調 査 方 法 (1) 商工会の経営指導員が訪問面接し、聞き取りにより行いました。
(2) 調査対象地区の設定は、商工会地区市町村人口規模別の実態を勘案して行い、調査対象事業の抽出は、業種規模等有意選出により行いました。

4. 対象企業等内訳

業種	項目	対 象 企 業 数	回 答 企 業 数	回 答 率 (%)
製造業 (地域産業)		29 (19.3)	29 (19.3)	100.0
建 設 業		24 (16.0)	24 (16.0)	100.0
小 売 業		42 (28.0)	42 (28.0)	100.0
サ ー ビ ス 業		55 (36.7)	55 (36.7)	100.0
		150 (100.0)	150 (100.0)	100.0

(注) カッコ内の数字は、構成比 (%) を表す。

5. そ の 他 本報告書中のD・Iとは、ディフュージョン・インデックス (景気動向指数) の略で、各調査項目についての増加 (上昇、好転、長期化) 企業割合と減少 (低下、悪化、短期化) 企業割合の差を示すものであります。